

科目名	自然科学看護学演習 I natural science Nursing Seminar I			担当教員 (研究室番号)	未定			教員への連絡方法 (メールアドレス)					
履修年次	1年次前期	科目区分	専門科目			選択区分	コース必修	単位数(時間)	2(30)	授業形態	演習	科目等履修生	否
												遠隔授業	否
科目目的	看護に関わる諸問題の中から、生理学的視点をもって関心領域に焦点をあてる。関心領域の中から研究を進める上で中核となるResearch Questionを設定し、その背景、関連要因や意義等を網羅的に学習する。												
ディプロマ・ポリシー(DP)	主要なDP	3. 地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、看護学教育および実践看護学に関する課題を追及していける研究能力を身につけている。											
	関連するDP	5. 看護学の発展に寄与するための研究能力を修得している。											
到達目標	1. 看護の基盤となる生理学的な知識をもとに、諸問題について説明することができる。 2. 看護の基盤となる生理学的な考え方を理解し、課題の解決に向けて仮説を立て、実証に向かうプロセスについて説明することができる。												
成績評価方法(基準)		レポート(100%)											
教科書		定めない。											
参考書等		必要に応じて提示する。											
受講者へのメッセージ		看護技術や看護実践の根拠となる学問領域の一つです。生理学的な考え方やセンスに触れてください。											
備考													
回	学習項目			学習内容						主担当教員	授業方法		
1回	看護実践にかかわる生理学的根拠①			細胞の機能、細胞膜の生理的機能を総括し、看護実践の基盤として理解を深める。						未定	対面(講義)		
2回	看護実践にかかわる生理学的根拠②			呼吸器系の生理的機能を総括し、看護実践の基盤として理解を深める。						未定	対面(講義)		
3回	看護実践にかかわる生理学的根拠③			循環器系の生理的機能を総括し、看護実践の基盤として理解を深める。						未定	対面(講義)		
4回	看護実践にかかわる生理学的根拠④			筋骨格系の生理的機能を総括し、看護実践の基盤として理解を深める。						未定	対面(講義)		
5回	看護実践にかかわる生理学的根拠⑤			体温調節系の機能を総括し、看護実践の基盤として理解を深める。						未定	対面(講義)		
6回	看護実践にかかわる生理学的根拠⑥			水分調節系の機能を総括し、看護実践の基盤として理解を深める。						未定	対面(講義)		
7回	看護実践にかかわる生理学的根拠⑦			腎臓の生理的機能を総括し、看護実践の基盤として理解を深める。						未定	対面(講義)		
8回	看護にかかわる健康問題と生理学①			熱中症について学び、生理学的視点からそれにかかわる看護問題を検討する。						未定	対面(講義)		
9回	看護にかかわる健康問題と生理学②			サルコペニア、ロコモティブ症候群、フレイルの関係について学び、生理学的視点からそれにかかわる看護問題を検討する。						未定	対面(講義)		
10回	看護にかかわる健康問題と生理学③			慢性腎臓病(CKD)について学び、生理学的視点からそれにかかわる看護問題を検討する。						未定	対面(講義)		
11回	看護にかかわる健康問題と生理学④			慢性血栓性肺高血圧症(CTEPH)について学び、生理学的視点からそれにかかわる看護問題を検討する。						未定	対面(講義)		
12回	環境生理学的研究①			暑熱環境と人体について学び、看護学に必要な体温調節研究に触れる。						未定	対面(講義)		
13回	環境生理学的研究②			寒冷環境と人体について学び、看護学に必要な体温調節研究に触れる。						未定	対面(講義)		
14回	運動生理学的研究①			運動時の生理的反応について学び、運動の効果を看護に活用できる可能性など研究への発展性について議論する。						未定	対面(講義)		
15回	運動生理学的研究②			運動の処方について学び、運動を看護に活用する方法に触れるとともに、その意義について議論する。						未定	対面(講義)		